

## corporate philosophy

「赤字決算には印を押さない」をモットーに！  
お客様と所内スタッフの意識改革で顧問先の9割が黒字決算！



### 所長 日野上輝夫

昭和18年生。東京大学大学院理学研究科修了。  
大東財力ネットワーク協会、日野上小規模企業共済会、  
神クックス、新アウトソーシングネットワーク代表理事、  
仕事、教育、商標に「心を通わせて」をモットーに経営実践  
字化を推進して経営改善を行っている。



### 副所長 日野上達也

平成10年税理士登録。今年、「次は代議院版」「東海医療  
経営塾」を開講。その他セミナー講師としても幅広く活動  
中。税理士によるLLP講師KAIZEN研究会に所属。  
近畿税理士会東支部支部長。

### 日野上税理士 総合事務所

〒547-0044  
大阪府大阪市平野区  
平野本町5-14-20 日野上ビル5F  
TEL 06-8791-0724  
FAX 06-8791-0733  
http://www.hinokami.co.jp/index.htm  
E-mail hin@hinokami.co.jp

「中小企業は自己資本比率を高めるべきで、借入れによる安易な経営を自覚するべきではない」——これが当事務所の考えです。世の中、拡大・前進するものが良いことだ、という考え方が蔓延していますが、必ずしもそうではありません。重要なのは「質実な歩み」です。会計事務所はリスク回避の指導をすべきと、私たちは考えます。

私どもは、決算を通じてそれまでの関与先企業の経営を是正するため、社長や経理担当者に決算報告に関する説明をしています。現状把握と目標立案は企業の成長には欠かせません。そのため、当事務所では決算診断提案書で企業の現状把握、今期経営目標提案書で目標立案をサポートし、期中決算提案書で実績と目標の乖離を明らかにし、経営者の経営方針の軌道修正をお手伝いしています。

法人の関与先黒字率は現在、90%を超えています。なぜなら、当事務所では、「赤字決算には印を押さない」という意識で関与先企業の指導にあたり続けているからです。会社は黒字を出さなければいけない。その意味を実感されるまで、私たちは指導し、関与先にはそれを必ず実行していただきます。必ずわかる時は来ます。

経済が右肩上がりの時代、「法人は赤字にしておいて給料を取ればいい」といって指書をした当事務所はやってきませんでした。その間違った考え方を早く是正しなければ手遅れになります。

なぜ赤字を避けなければならないのか、どうやって黒字企業に転換できるのか、そういう観点から顧問先の中小企業経営者の皆さんに動付けをし、意識改革を促していきたいと思います。

## 90パーセント超 法人関与先の黒字率

Accounting

## 顧問先の9割が黒字会社という実績

# 日野上税理士総合事務所

仕事のパフォーマンス 得意分野ベスト5

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| ① 医療経営に強い   | ⑥ 相続・資産税に強い      |
| ② 建設業に強い    | ⑦ 資金繰りを徹底指導      |
| ③ 飲食業に強い    | ⑧ 銀行交渉・資金調達を徹底指導 |
| ④ 製造業に強い    | ⑨ 新設法人の経営を徹底サポート |
| ⑤ 経営計画を徹底指導 | ⑩ FFP業務を徹底サポート   |



決算診断提案書を活用して  
経営の軌道修正をします

Accounting

The most reliable accounting firms best 100 in japan

当事務所では、法人設立をお考えの方もしくは、法人設立間もない方のご支援もしています。法人設立に伴う各種届出の提出、帳簿等の記載指導、及び、無料会計ソフトを使った入力指導、毎月一回訪問し、試算表に基づき経営相談、利益対策、給与計算、その他資金繰りの検討、申出書の作成等、バックでお受けいたします。

また、当事務所主催のセミナーも、定期開催（毎月第2木曜日、午後4〜5時）しております。セミナー内容は次の通り。

- 「特殊支配関係会社の給与所得控除の損金不算入」
- 「新会社法による定款診断」
- 「確定申告（医療費控除等）について」
- 「高齢者雇用における雇用保険と資金と年金について」
- 「企業における税務規則の重要性について」
- 「確定申告（医療費控除等）について」

## 創業支援設立と セミナー開催

Accounting

The most reliable accounting firms best 100 in japan

「最終バランスシート」とは、自己資本比率が高く、バランスが取れているから、バランスシートと言います。私たちが大事にしたいのは、「最後に会社をやめようと思ったときのバランスシート」です（実際に事業をやめるわけではありません）。

経営を継続しているとしても、お金にならないものが資産として計上されていたりしています。そういうものを除外すれば会社に何が残るか。構築物などは税法上資産に上がっていても、お金としての値打ちはマイナスイナスです。売却するにお金があるからです。中古自動車も古い機械も同じです。それがみんな資産に上がっていて、バランスが合っていると想っている。大間違いです。最終のバランスシートがどうなるかを常に考えるというのがそういうことです。

「最終バランスシート」を常に意識した経営を

Accounting